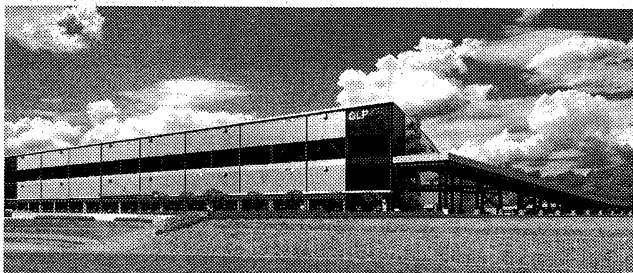


GLP 神戸市の大型物流施設起工



完成イメージ

グローバル・ロジスティクス・プロパティーズ(GLP)が、神戸市西区の「マルチテナント型」の大型物流施設「GLP神戸西」の起工式が15日、現地で行われた。マルチテナント型で延べ床面積は約7万1000平方メートル。18年1月の竣工を目指す。設計・施工はJFEシビルが担当。GLPが同パーク内に建設

するの2棟目となる。式には、施主や施工関係者ら約40人が出席。神職(社長)が、神戸市西区の神戶テクノ・ロジステイツクパークに計画していた大型物流施設「GLP神戸西」の起工式が15日、現地で行われた。マルチテナント型で延べ床面積は約7万1000平方メートル。18年1月の竣工を目指す。設計・施工はJFEシビルが担当。GLPが同パーク内に建設

マルチテナント型延べ7万²m² JFEシビル

「II」の起工式が15日、現地で行われた。マルチテナント型で延べ床面積は約7万1000平方メートル。18年1月の竣工を目指す。設計・施工はJFEシビルが担当。GLPが同パーク内に建設

鋤入れする帖佐社長



いを想定し、1階と3階に高床パースを設置。3階と4階の積載荷重は通常の2倍の3トンを配分でき、将来の自動ラックやコンベヤーなど配送設備の設置に柔軟に対応できる。一部の床は冷凍冷蔵向けに加工する予定だ。

加賀健作業所長 (JFEシビル) の話



「優秀な人材を確保するなど準備は整った。1棟目の経験を生かし、創意工夫しながら高品質かつ高精度の建物を無事故・無災害でおさめたい」。